

公表用

実施日時	2026年 2月 16日(月)13:30～15:35
施設名	杉山寮
主催者側	すぎやまや家理事長 橋本浩明、杉山寮管理者 水艸亜紀、法人事務局長 大森陽子
議題内容	<p>議題1:利用者の日常生活の様子(虐待事案報告含)</p> <p>概要</p> <p>30名の利用者(男19名女11名)宿舎を改修し利用者居室へ利用予定あり</p> <p>区分4:3名、区分5:13名、区分6:14名(個別対応者が増えています)</p> <p>着替え1時間半程度かかります 食事1時間程度で提供しています</p> <p>ラジオ体操をしていますができなくなってきた利用者が増えています</p> <p>夜間帯で虐待事案が発生(高島市より虐待認定を受けました:夜間帯で利用者との対応に苦慮していた様子 職員間、利用者と職員との信頼関係を)したため、支援員室で男女職員が待機することへと変更となっています 職員は朝・昼・夜開始の三交替勤務+日勤職員を配置しています</p> <p style="text-align: center;">参加利用者への質問</p> <p>杉山寮で生活していてどうですか? →”みんなと仲良ししてる リネン作業とか””病院へは月一回行ってます”</p> <p>困ってることないですか? →”利用者(〇〇さん)がかぶりついてくる””利用者(△△さん)からどつかれる””本やぶられて少し困ってる”</p> <p style="text-align: center;">出席者からの質問</p> <p>取り組みの中で重度の方の発信が難しいと思うがヒヤリハットなどはたくさんある? →事故報告書はあがってきます</p> <p>どのように取り組まれていますか →上・下半期などでやっている 共有するようにしないといけないとおもっている</p> <p>ホールにあの人数はきっと狭いだろうと感じた 人との距離の取り方はそれぞれだと思う。とって広げるとみれないのだろうと思う →ホールが狭く感じてきていることも事実ですが、ただ他に分散できる場所もなく、利用者からすると、自分のパーソナルスペースがない部分であり、難しさを感じています。トラブルもそのため多いと思います。</p>

	<p>議題2:利用者小遣いの報告(経済的部分の開示)</p> <p>概要 小遣い帳を閲覧いただく 散髪(二か月に一度を基本にしている)代も小遣いから支出している 基本は現金・コンビニ払い ポイントが職員につかないようにしている</p>
	<p>議題3:地域とのかかわり</p> <p>概要 西地域限定でころね交流バスを運行しています 小学校にPTAがなくなるから民生委員に地域とつなげてほしいといわれた 地域にお願いしたらいいと思われているようだがみんなも仕事しながらして いるので人はいない画期的な工夫がないかと模索している 子どもの流出 (高校も県下どこでもいけるようになってしまったこともある) ⇒地域にできるようにしたら減収になり回らなくなる ⇒同一法人内ですみわけできるようにしている ⇒作業場にトイレがないことによる空間使用率の低下がある ⇒人は限られている 民生委員のなりでもない 20年前はできていた ⇒地域に来てもらうことはできても連携までとなると難しい ⇒障害者と老人の境目はどこ？ ⇒杉山寮から老人ホームへ異動されたかたは3名おられる(内1名は老人 ホーム、2名は介護老人施設) 重度の方でなかったことにより</p> <p>⇒一人体制にしない マンパワーを倍ほどの人数がいる ⇒一人ひとりの価値観の違い 同じ方向を向いていないといけない 職員同士のマネジメントできないと続かない ⇒人間相手なので合う合わないがある ⇒子どもをみななければいけない時間に人が欲しい ⇒小学校1年生とけん玉をしたが、一人でする子、何人かでする子、できな くて泣く子 先生がフォローに来ない ⇒完璧でないといけないと思っているとできないときのストレスになり、虐待に なったり勤務できなくなったりするのかもしれない ⇒勉強できなくても運動ができたりちがうことができたりすることでよかった ⇒福祉では、相手の立場に立って考えることが大切と考えるが個々の視点 になっているがために福祉が選ばれなくなっているところかと感じた</p>
<p>次回開催ま での課題等</p>	<p>次回開催予定日:令和8年11月頃、杉山寮およびころね作業棟</p>